

富士教育訓練センター（職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会）の総会に出席して

鈴木 浩明

令和8年5月26日（火）御茶ノ水ソラシティーカンファレンスセンターにて、富士教育訓練センターの第30回通常総会が開催されました。今年度は、理事改選の年でありました。3期6年会長を務められた、山梨敏幸会長が、日本機械土工協会の会長を退任され、後任に玉石修介会長となりましたので、4代目の全国建設産業教育訓練協会会長は、日本建設躯体工事業団体連合会（略称 日本躯体）の大木勇雄会長が選任されました。

初代山崎会長は、旧建設省建設大学校朝霧校（旧中央訓練所）の土地や、施設を借り受け、富士教育訓練センターを立ち上げました。2代目の才賀清次郎会長は、新施設の建設を行い、その資金の調達に奔走されました。3代目の山梨敏幸会長は、コロナ禍の中で、受入れ数がどん底まで低下をしましたが、コロナ禍明け後には、飛躍的に入所者を増大させました。4代目の大木勇雄会長は、建設業のグローバル化への対応、そして、旧施設の営繕の対応が求められています。

また、富士教育訓練センターが創設30周年を令和9年に迎えるため、記念大会の企画運営を行うこととなります。

私たちの産業開発青年隊は平成8年3月に閉校となりました。準備期間を1年間置き、平成9年より富士教育訓練センターが稼働しました。

祝賀会の場で、山梨前会長に、ご挨拶をさせていただき、6年間お世話になったことへの感謝の意を伝えさせていただきました。山梨会長からは、これで終わりではなく、これからも顔を見せてくださいと、温かいお言葉をいただきました。その後、大木会長にご挨拶をさせていただきました。産業開発青年隊の同窓会長であると、自己紹介をしたところ、産業開発青年隊は、富士教育訓練センターの母体であるのだから、皆さんの活躍に感謝をしていると仰っていただきました。また、産業開発青年隊のことに、深く関心を持っていただき、富士教育訓練センターに伺った時には、ぜひご挨拶をしないと、うれしいお言葉をいただきました。産業開発青年隊を理解していただくことができる方に、会長になっていただけたことは、何よりのことだと思います。

あと、総会の中で、お話が出ましたが、非常勤の講師について、スポット的に努めていただける方は多いが、まとまった日数を担当してくださる講師が必要とのことでした。

同窓会の会員の方で、ご自身の知識を後進に伝えたいと思う方がいれば、ぜひご連絡をいただきたいと思います。新会長の熱い思いにこたえることが、私たちの居場所を創ることに繋がるはずです。よろしく申し上げます。



産業開発青年隊同窓会は、富士教育訓練センターの賛助会員となっておりますので、議決権はありませんが、総会にはお呼びいただいておりますので、例年参加いたしております。



大木新会長。総会時には副会長でしたが、議案可決後、新会長に就任されました。